

製品名: ERR アルファ (18W8) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe10616**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,FC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%新型保存料 N、50%グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,FC 1:20-1:50,IP 1:20-1:50
分子量	46kDa

抗原情報

遺伝子名	ESRRA
別名	ESRRA; ERRa; ERR1; HERR1; NR3B1; Steroid hormone receptor ERR1; ERR-alpha; ERRalpha; ESRL1; Estrogen receptor-like 1; Estrogen-related receptor alpha;
遺伝子 ID	2101.0
SwissProt ID	P11474
免疫原	ヒトエストロゲン関連受容体 α の合成ペプチド

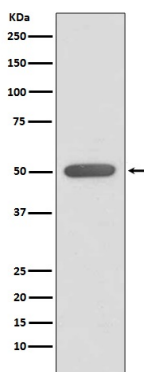
背景

エストロゲン関連受容体アルファ (ERR α /NR3B1) は、脂肪酸酸化、グルコース代謝、ミトコンドリア生合成に関与する遺伝子の転写を制御するオーファン核内受容体です。受容体タンパク質には、非保存アミノ末端ドメイン (NTD)、中央のジンクフィンガー DNA 結合ドメイン、リガンド結合ドメインが含まれています。ERR α のカルボキシ末端 AF2 ヘリックスモチーフには、核内受容体コアクチベーター PGC-1 α および PGC-1 β の結合部位が含まれています。研究では、ERR α の転写活性は NTD 内のリン酸化および SUMO 化によって制御されることが実証されています。単一のコンセンサスハーフサイト 5'-TNAAGGTCA-3'を含む ERR- α 応答エレメント (ERRE) に結合します。中鎖アシルコエンザイム A 脱水素酵素 (MCAD) 応答エレメント NRRE-1 に結合でき、MCAD プロモーターの重要な調節因子として機能する可能性があります。ラクトフェリン遺伝子プロモーターの C1 領域に結合する。完全な活性発現には二量体形成とコアクチベーター PGC-1A を必要とする。ERR α /PGC1 α 複合体はエネルギー代謝の調節因子である。骨格筋において PERM1 の発現を誘導する。

研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

画像データ



HeLa 細胞溶解物中の ERR アルファ発現のウェスタン プロット分析。